

コミュニティ末広地区防災計画

令和2年（2020年）11月

まちづくり協議会コミュニティ末広

目次

1 基本方針（地区防災の基本的な考え方）	1
2 計画名称・計画対象地区と策定主体	2
（1）計画名称	2
（2）計画対象区域	2
（3）計画策定主体	2
3 地区の特性と予想される災害	3
（1）地区の特性	3
（2）予想される災害	4
4 活動内容	5
（1）平常時の取組	5
（2）災害時の取組	5
（3）避難行動要支援者（災害時要援護者）等への支援	6
5 地区の防災対策（具体的な対策）	7
（1）防災体制	7
（2）活動体制	9
（3）情報伝達・地区の連絡網	10
（4）関連施設	11
（5）防災資器材等	11
（6）地区防災マップ	11
（7）地区防災訓練の実施	12
（8）資器材、器具等の点検	12
（9）避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援体制の整備	12
（10）自主防災組織の整備	12
別紙 参考資料	13
別紙1 保有する防災資機材	13
別紙2 防災マップ	16
別紙3 阪神・淡路大震災時の避難者数と家屋被災状況	19
資料編 防災に役立つ情報	20
【資料1】チェックリスト	20
1 地区の危険な箇所チェックリスト	20
2 自主防災活動（共助）チェックリスト	21
3 わが家の防災力（自助）チェックリスト	22
【資料2】家庭での防災・減災対策	23
【資料3】いざというときのアイデア	27

1 基本方針（地区防災の基本的な考え方）

災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより市、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのような時、力を発揮するのが「地区ぐるみの協力体制」です。

実際に、阪神・淡路大震災の時には、地区住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命を救うとともに、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

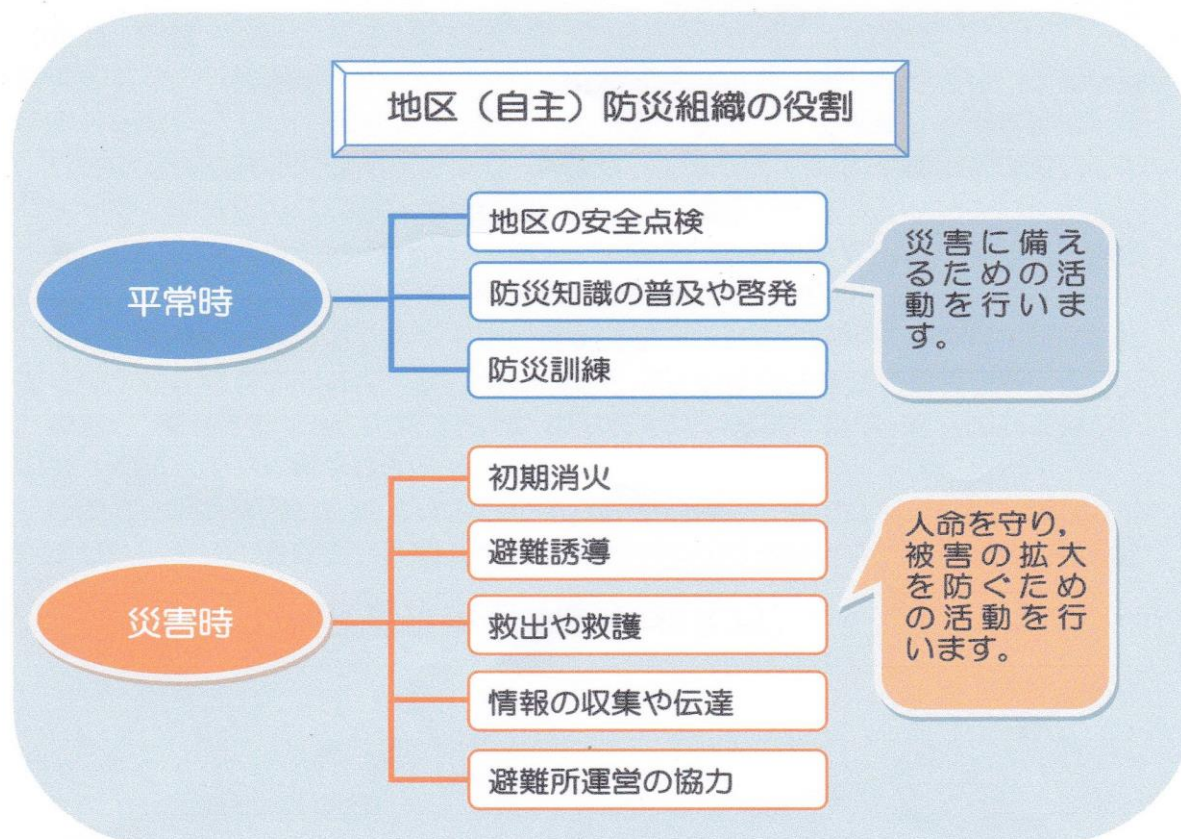
また、東日本大震災の時のように避難所生活が長引く場合にも、地区住民が助けて、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

私たちのコミュニティ末広では、「自分たちの地区は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害にも強いまちづくりを進めます。

この取組を計画的に推進するため、地区住民を主体とした防災組織を構築しこの行動の規範としての「コミュニティ末広地区防災計画」を定め、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」「共助」を着実に実行いたします。

この計画に基づく施策・事業などに取り組み、地区の防災力を高めていきます。

なお、このマニュアルでは基本的な防災計画をまとめました。「コミュニティ末広避難所運営マニュアル」は2020年3月に別途作成済みです。この2つのマニュアルを両輪として、地域住民の災害時の安心・安全を確保いたします。



2 計画名称・計画対象地区と策定主体

(1) 計画名称

コミュニティ末広地区防災計画

(2) 計画対象区域

「コミュニティ末広地区防災計画」は表－1の地区を対象として定めます。

表－1

番号	住 所	世帯数	人 口	年 代 別 割 合 %			事業所数
				0～14 才	15～64 才	65 才以上	
1	伊子志 1 丁目	313	582	9.5	63.2	27.3	44
2	伊子志 2 丁目	531	1,269	14.5	60.4	25.1	40
3	伊子志 3 丁目	786	1,724	13.8	62.6	23.6	91
4	伊子志 4 丁目	794	1,604	10.3	54.4	35.3	30
5	逆瀬川 1 丁目	810	1,733	12.0	56.2	31.5	230
6	末広町	127	350	33.4	55.2	11.4	4
	計	3,361	7,262				439

注) 伊子志 4 丁目データは隣接する他の校区のデータを含んでいます。

データは令和 2 年 6 月の住民基本台帳による人口（町丁、字別、年齢別）から算出しました。

企業数は総務省統計局「平成 28 年経済センサス・活動調査結果報告」によります。

(3) 計画策定主体

「コミュニティ末広地区防災計画」は表－2の団体が主体となって定めます。

表－2

団 体 名 称	所 在	自治会の世帯数
コミュニティ末広	宝塚市末広 3 丁目 1 番	世帯数 2,917
伊子志自治会	宝塚市伊子志 1 丁目	世帯数 889
逆瀬川自治会	宝塚市逆瀬川 1 丁目	世帯数 715
逆瀬川スカイハイツ自治会	宝塚市伊子志 3 丁目	世帯数 138
サンハイツ逆瀬川自治会	宝塚市伊子志 4 丁目	世帯数 196
シティライフ逆瀬川自治会	宝塚市逆瀬川 1 丁目	世帯数 55

注) 市に届け出がある自治会の世帯数（2019/6/1 現在） 資料：まちづくり計画地域カルテ

3 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

ア 人口的特性

(ア) コミュニティ末広の人口は、平成26年(2014年)は6,336名、平成31(令和元)年(2019年)には6,379名とほぼ横ばい、世帯数については、2,809世帯から2,917世帯と100世帯以上増加しています。

一方で高齢者の推移を見ると65歳以上の人口は1,529名から1,710名と181人増加、一人暮らしの世帯も453世帯から534世帯と81世帯増加となっており、世帯数の増加はあるものの、一人暮らしの高齢者世帯の割合が高くなりつつあるのが現状です。

(イ) また、子どもも多少の増減はありますが、ほぼ横ばい(末広小は各学年2～3クラス)。高齢者は増加傾向にありますが、高齢化率は市内の平均とほぼ同等です。年少人口は市の平均より若干多い程度です。

イ 地形的特性

(ア) 逆瀬川上流部の真砂土が洪水時に流下して、河口部に堆積してできた三角州です。

(イ) 武庫川は洪水時に氾濫して、流路が蛇行して変化し浸食と堆積を繰り返しました。

(ウ) 逆瀬川の砂防工事と武庫川の堤防築造工事が完成して、地形は安定しました。

現地盤高は逆瀬川駅近辺が最高位で45.5m、宝塚市消防本部北側が最低位で23.5mです。地形は低位置から駅付近の高位置になだらかに上昇しています。

(エ) 台風時や梅雨時の集中豪雨による域内の内水流出によって、低地帯が浸水します。

表ー3 末広校区近年の主な風水害による被害状況

年	月	原因	気象観測値mm(市内)		床上 浸水	床下 浸水	道路 冠水	倒木 処理	家屋 一部 損壊	発生場所
			総降水量	時間 最大降水量						
H26	9	集中豪雨	82.5	69.5	○					伊子志
H26	8	集中豪雨	194.0	76.5	○					伊子志
H24	4	低気圧(強風)	66.0	41.0			○			伊子志
H19	8	雷雨	116.5	98.5	○	○				伊子志
H16	6	台風6号	46.5	22.5				○		伊子志
H16	10	台風23号	218.0	26.5					○	末広町
H15	5	台風4号	12.0	3.0				○		末広町

資料 宝塚市ホームページ 防災のページ 災害履歴

災害レポート(平成30年度～平成20年度)及び災害レポート(平成19年度～平成7年度)から引用

(2) 予想される災害

ア 地震

(ア) 南海トラフ地震による被害 (宝塚市内は震度5～6弱を想定)

① 家屋の倒壊や火災

(イ) 市役所直下型地震

① 家屋の倒壊や火災、液状化

イ 集中豪雨（ゲリラ豪雨）や台風による被害

(武庫川はおおむね100年に1回の大雨を想定)

(ア) 武庫川の氾濫、溢水

伊子志2丁目、伊子志3丁目、伊子志4丁目、末広町周辺で家屋への浸水が想定されます。

(イ) 地区内水の氾濫、浸水

伊子志1丁目、伊子志2丁目、伊子志3丁目地区周辺で家屋への浸水が現に起こっています。3ページの表-3を参照

4 活動内容

(1) 平常時の取組

いざというときに地区の力が発揮できるよう、地区のみんなで協力して防災活動に取り組みます。

ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地区住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

イ 地区の安全点検

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地区の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

ウ 防災資器材の整備

防災資器材は、災害発生時に活躍します。地区で防災資器材を整備し、日頃の点検や使い方を確認します。

エ 防災訓練

防災訓練は、いざというとき、あわてず、的確に対応するための欠かせない活動です。地区住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

(2) 災害時の取組

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。公共機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて被害の軽減に向けて活動します。

ア 情報の収集・伝達

公共機関などから正しい情報を収集し、地区住民に伝達します。また、地区の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、防災機関へ報告します。

イ 救出・救助活動

自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

ウ 初期消火活動

消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

エ 医療救護活動

医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所へ搬送します。

オ 避難誘導

地区住民を安全な避難所などへ誘導します。

カ 給食・給水活動

地区で必要な物資を把握し、公共機関とも連携しながら、必要に応じて炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

（３）避難行動要支援者（災害時要援護者）等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障害者、子どもなど、人の助けを必要とする人（避難行動要支援者（災害時要援護者））です。こうした避難行動要支援者（災害時要援護者）を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。この取組を着実に進めるため、「宝塚市災害時援護者避難行動支援マニュアル」に基づき、個別支援計画等を定めることが重要です。

ア 避難行動要支援者（災害時要援護者）の身になって、防災環境の点検・改善を行う。

目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路等に障害物や危険な場所はないかななどを点検し、改善に努めます。

イ 避難するときは、しっかり誘導する。

隣近所の助け合いが重要です。一人の避難行動要支援者（災害時要援護者）に複数の避難支援者を決めておきます。

ウ 困ったときこそ温かい気持ちで接する。

非常時こそ、不安な状況に置かれている人にやさしく接する必要があります。

困っている人や避難行動要支援者（災害時要援護者）には、思いやりの心を持って接します。

エ 日頃から積極的にコミュニケーションを図る。

いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に避難行動要支援者（災害時要援護者）とのコミュニケーションを図ります。

5 地区の防災対策（具体的な対策）

（１）防災体制

ア 地区防災委員会の体制

コミュニティ末広地区防災委員会は総合防災対策事業委員会と称します。

総合防災対策事業委員会は表－４により構成します。

表－４ 委員会構成

委員長	まち協 代 表	備 考
副委員長	伊子志自主防災会 専任副本部長（防災士）	
副委員長	まち協 副代表	
委 員	まち協 副代表	
委 員	まち協 会計	
委 員	まち協 広報部長	
委 員	まち協まつり部長（防災士）	
委 員	まち協 第一部長	
委 員	総合防災対策事業委員会 会計担当（まち協総務）	
委 員	伊子志自治会長	
委 員	逆瀬川自治会長	
委 員	逆瀬川スカイハイツ自治会長	
委 員	サンハイツ逆瀬川自治会長	
委 員	シティライフ逆瀬川自治会長	
委 員	グランドール管理組合理事長	
委 員	末広小学校長	
委 員	末広小学校 PTA 会長	
委 員	教育委員会避難所 担当	
委 員	社協第２地区担当	

イ 避難所等

コミュニティ末広地区の避難所等は表－５の通りです。

表－５ 避難所等

避難所等	施設名	備考
指定避難所 (市指定)	末広小学校	
予備避難所 (市指定)	伊子志会館	
	中央公民館	感染症対応をすべき時に指定する
一時避難場所 (地区指定)	逆瀬川スカイハイツ	
	サンハイツ逆瀬川	
	ファミリー逆瀬川	
	グランドール逆瀬川	
自主避難場所 (地区指定)	伊子志会館	市が予備避難所として開設する場合は市の方針に従う
自主避難場所 (市指定)	宝塚第一小学校	
	光明小学校	
指定緊急避難場所 (市指定)	武庫川河川敷緑地	
	末広中央公園	
福祉避難所	介護や治療が必要な人の人数や受け入れ施設の状況で入居先が調整されるので事前の指定は行わない。	
避難経路	P. 10 コミュニティ末広防災マップのとおり	

注) 避難所の定義は次の通りです。

指定避難所 災害の危険性があり、避難した住民を危険性がなくなるまで滞在させたり、災害により家に戻れなくなった住民を一時的に滞在させることを目的とした避難所で市町村が指定します。

予備避難所 高齢者や障害者など特別な配慮が必要な災害時要援護者優先の避難所です。

一時避難場所 地区住民がお互い様の配慮で避難者を受け入れ、避難所として一時的に利用できる避難所です。

自主避難場所 大型台風や豪雨が来襲することが予測されたとき、一時的に自発的に避難することができ避難所です。事前に市町村が指定します。

指定緊急避難場所 切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための場所です。

福祉避難所 特に介護や治療が必要な方のため、必要な設備や人員を配した専用の避難所です。

ウ 緊急時の連絡先

緊急時の連絡先は表－６の通りです。

表－６ 緊急時の連絡先

連 絡 先	電 話 番 号
宝塚市役所	０７９７－７１－１１４１
宝塚市立病院	０７９７－８７－１１６１
宝塚市消防本部	１１９
宝塚警察署（逆瀬川交番）	１１０
宝塚市上下水道局	０７９７－７３－３６８１
関西電力送配電	０８００－７７７－３０８１
大阪ガス	０１２０－７－１９４２４
NTT 西日本	０１２０－４４４１１３（２４時間）
災害用伝言ダイヤル（録音時）	１７１－１－・・・
災害時伝言ダイヤル（再生時）	１７１－２－・・・

（２）活動体制

平常時、災害時の活動体制（班構成等）は表－７の通りとします。

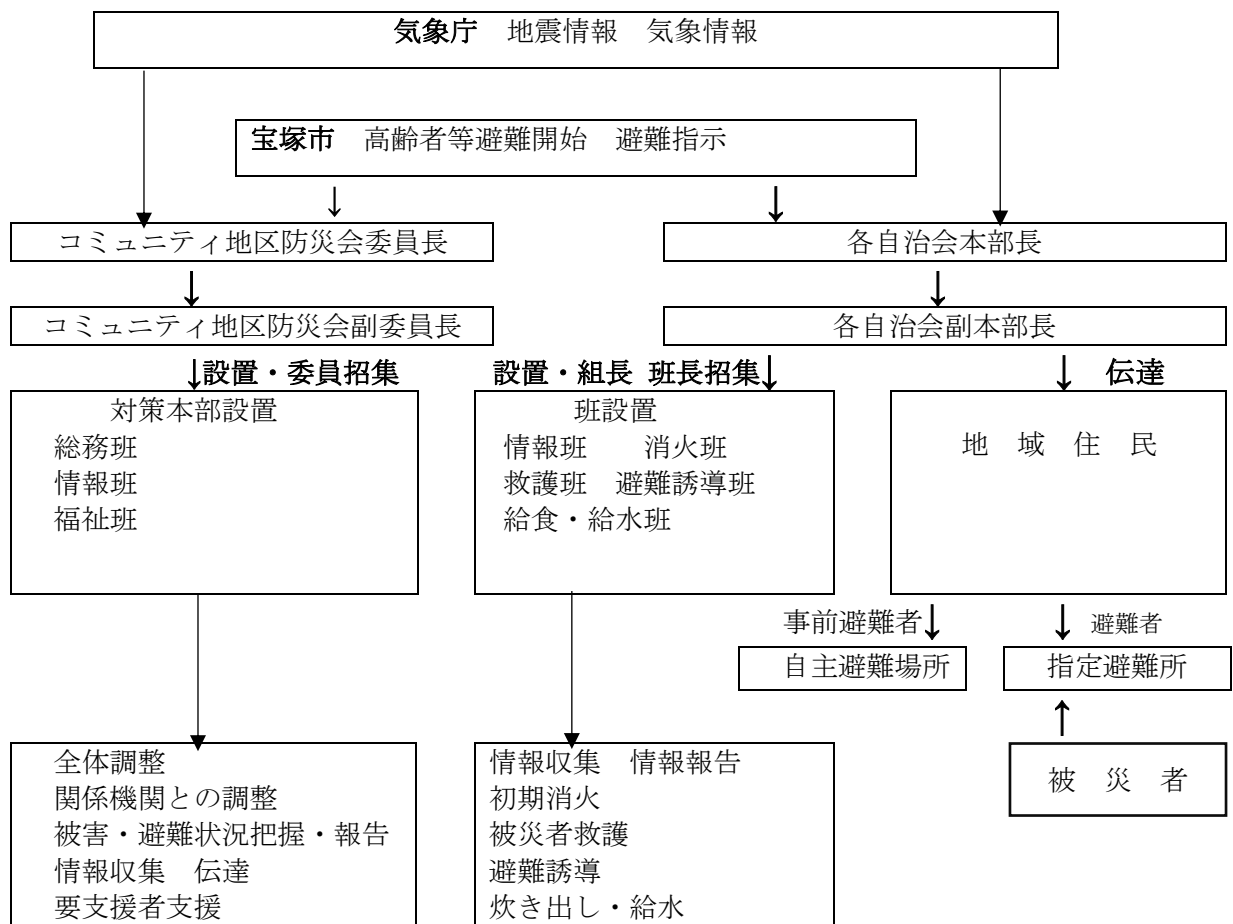
表－７ 班構成表

班 名	担 当 者	平常時の役割	災害時の役割
総務班 （本 部）	まち協 代表 総合防災対策事業委員会 委員	全体調整 関係機関との事前調整	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	まち協 広報部部員 自治会自主防災会担当	防災知識の啓発・広報	公共機関等からの情報収集 と伝達 地区の被災状況や火災発生 状況を取りまとめ、防災機関 へ報告
消火班	自治会自主防災会担当	器具の整備・点検	消防車が到着するまでの間、 消火器・バケツリレーなどに よる初期消火
搬出・救護班	自治会自主防災会担当	資機材・器具の整備・点検	負傷者や家屋の下敷きにな った人の救出・応急手当 救護所への搬送
避難誘導班	自治会自主防災会担当	避難経路の点検	地区住民を安全な場所など に避難誘導
給食・給水班	自治会自主防災会担当	器具の整備・点検	地区で必要な物資を把握し、 公共機関とも連携しながら 必要に応じて炊き出し等の 給食・給水活動
福祉班	まち協 第一部部員	避難行動要支援者（災害時 要援護者）の支援体制の整 備	避難行動要支援者（災害時要 援護者）の支援

(3) 情報伝達・地区の連絡網

- ア 災害発生時の各種情報及び避難指示の連絡網を図－１に示します。
- イ 災害発生時は地区防災委員会委員長、または、副委員長は宝塚市等から収集した情報を総務班、情報班、福祉班に伝達します。
- ウ 災害発生時は地区自治会本部長または副本部長は宝塚市等から収集した情報を各自の連絡網を活用して自治会員に情報伝達します。また、被災の内容に応じて情報班、消火班、救出・救護班、避難誘導班、給食・給水班に伝達します。
- エ 情報の伝達は電話、携帯、メール、無線通話機（トランシーバ）など回線が繋がるものを利用して行います。また、バイクなどを利用した伝令で行います。

図－１ コミュニティ末広 地区連絡網



注) 情報の入手先

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

兵庫県防災情報

http://hyogo.bosai.info/idx/index_28221.html

宝塚市安心メール

<http://bosai.net/takarazuka/>

(4) 関連施設

ア 医療関係機関

種 別	名 称	住 所	連 絡 先	備 考
救急指定医療機関	宝塚市立病院	小浜 4-5-1	0797-87-1161	
〃	宝塚第一病院	向月町 19-5	0797-84-8811	
〃	こだま病院	御殿山 1-3-2	0797-87-2525	
〃	宝塚病院	野上 2-1-2	0797-71-3111	

イ 自治会館等

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
共同利用施設伊子志会館	伊子志 1-6-27		

ウ 避難行動要支援者（災害時要援護者）施設

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
介護老人保健施設ケアヴィラ宝塚	亀井町 10-51	0797-71-6510	
特別養護老人ホーム宝塚ちどり	亀井町 10-30	0797-73-0880	
小規模多機能型居宅介護事業所 オアシス宝塚	小浜 3-12-23	0797-86-4761	
特別養護老人ホーム 宝塚まどか園	美座 2-22-2	0797-83-1175	

エ その他施設

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
宝塚市社会福祉協議会	安倉西 2-1-1	0797-86-5000	
逆瀬川地域包括支援センター	中州 1-9-16	0797-76-2830	

(5) 防災資器材等

各自治会（自主防災会）、コミュニティ末広が保有する防災資器材の一覧を別紙 1 に示します。

平常時は、各自治会、コミュニティ末広は、年 1 回、地区防災訓練前に保有資器材の点検・整備を行います。

(6) 地区防災マップ

コミュニティ末広地区の予想されるハザード（浸水区域等）エリア、避難所、避難経路、貯水槽等を示した防災マップを別紙 2 に示します。裏面には、防災に係わる諸資料を掲載しています。

本マップに示したハザードは、兵庫県が旧版で示したもので新版に更新する必要があります。

(7) 地区防災訓練の実施

災害発生時に地区住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、市や消防本部、西消防署と連携しながら、次の訓練を中心とした地区防災訓練を毎年度実施します。

- ア 避難訓練（避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援を含む）、ペット同行避難訓練
- イ 情報収集・伝達訓練
- ウ 応急訓練
- エ 給食・給水訓練
- オ 啓発活動

訓練の実施後は、訓練結果を検証し次回の訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば「地区防災計画」の見直しを行います。

(8) 資器材、器具等の点検

資器材、器具等の点検は、(2)の各班別に平常時の役割に示した点検を(5)で示した方法によって実施します。

(9) 避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援体制の整備

福祉班を中心に避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援体制を整備します。

伊子志自治会では、災害時要支援希望者登録制度を平成25年9月から正式にスタートさせました。

表－8 支援体制整備時

班名	地 区	内 容	時 期
福祉班	地区担当 伊子志自治会	支援体制・方法の検討・整備	平成26年度から実施済み
		対象者の把握	平成26年度から実施済み
		個別計画の作成完了	平成26年度から実施済み
		定期的な個別計画の見直し	毎年度
福祉班	地区担当 逆瀬川自治会	支援体制・方法の検討・整備	令和3年度から実施
		対象者の把握	令和3年度から実施
		個別計画の作成完了	令和3年度から実施
		定期的な個別計画の見直し	毎年度

(10) 自主防災組織の整備

シティライフ逆瀬川自治会は、自主防災組織が未整備です。

予想される対象被害と住民の居住環境に適合した自主防災組織ならびに本地区防災計画に適合する防災計画を令和3年度中に整備いたします。

別紙 参考資料

別紙 1 保有する防災資機材

保有する防災資機材 (その1)

番号	名称	場所	① 情報収集・伝達							② 初期消火							③ 水防							
			メガホン	小型トランシーバ	携帯ラジオ	腕章	住宅地図	メモ帳	油性マジック	小型動力ポンプ	発電機	消火用ホース	消火器	ヘルメット	水バケツ	救命ボート	ブルーシート	シャベル	ツルハシ	スコップ	ロープ	かけや	杭	土嚢
1	伊子志自治会	せせらぎ防災倉庫	6								10	16	21		1									
2		せせらぎ清掃庫														2			4	1				
3		せせらぎ給水消火用具庫							1		12							4						
4		伊子志会館	3				1		2															
5		自主防災本部長宅		1																				
6		伊和志津神社倉庫																						
7	逆瀬川自治会	逆瀬川一丁目第2公園倉庫	2								3	10	2							3				
8		自主防災本部長宅		1																				
9	逆瀬川スカイハイツ自治会	一階集会所	1	1	1	3							9											
10		1～6階廊下									15	50												
11	サンハイツ逆瀬川自治会	自主防災本部長宅		1																				
12		集会所	2									2	10	3						3				
13	シティライフ逆瀬川自治会	一棟5階集会所		1												2								
14		一棟(6F～13F)廊下																						
14		二棟(6F～8F)廊下									39	88												
15	コミュニティ末広	末広小北門脇防災倉庫																						

保有する防災資機材 (その2)

番号	場 所	④ 救出								⑤ 救護				⑥ 避難所運営協力							⑦ 給食・給水									
		ボール	はしこ	のこぎり	なた	ジャッキ	ハンマー	チェンソー	小型ウインチ	防煙・防護マスク	金こて	担架	救急箱	テント	毛布	シート	リヤカー	警報器具	投光器	標識板	標識	強力ライト	寝袋	ガムテープ・雑巾	炊飯装置	鍋	こんろ	ガスボンベ	給水タンク	
1	伊子志自治会		1	4		3					1	1	2				1					2		3						
2														1																
3		せせらぎ防災倉庫	2					1																						5
4		せせらぎ清掃庫																												
5		せせらぎ給水消火用具庫																												
6	伊子志会館												1		10											4	2	4		
7	自主防災本部長宅																													
8	伊和志津神社倉庫													1																
9	逆瀬川自治会			2	1	2	2				2	1	2																	
10	逆瀬川一丁目第2公園倉庫																													
11	逆瀬川自治会																													
12	逆瀬川スカイハイツ自治会 一階集会室	2		2		2	2						1									1								
13	逆瀬川スカイハイツ自治会																													
14	サンハイツ逆瀬川自治会																													
15	サンハイツ逆瀬川自治会 集会室			2		2	2				2		2									1								
16	シティライフ逆瀬川自治会 一棟5階集会室																										2	3		
17	シティライフ逆瀬川自治会																													
18	コミュニティ末広																		1				5							

保有する防災資機材 (その3)

番号	場 所	⑧ 訓練・啓発							⑨ その他									
		模 擬 消 火 装 置	放 送 機 器	1 1 9 番 訓 練 装 置	組 立 式 水 槽	煙 霧 機	視 聴 覚 機 器	訓 練 火 災 警 報 器	簡 易 機 材 倉 庫	ビ ニ ー ル シ ー ト	携 帯 電 話 充 電 器	備 蓄 食 料 ・ 飲 料 水	仕 切 り 柵	エ コ ボ ー ド 更 衣 室	テ ン ト 付 き ト イ レ	簡 易 便 座	ゼ ッ ケ ン ベ ス ト	防 災 用 敷 き マ ッ ト
1	せせらぎ防災倉庫																	
2	せせらぎ清掃庫								1									
3	せせらぎ給水消火用具庫																	
4	伊子志会館										10							
5	自主防災本部長宅																	
6	伊和志津神社倉庫																	
7	逆瀬川自治会																	
8	逆瀬川一丁目第2公園倉庫																	
9	逆瀬川自治会																	
9	逆瀬川スカイハイツ自治会 一階集会室																	
10	逆瀬川スカイハイツ自治会																	
11	サンハイツ逆瀬川自治会																	
12	サンハイツ逆瀬川自治会 集会室																	
13	シティライフ逆瀬川自治会 一棟5階集会室								2									
14	シティライフ逆瀬川自治会																	
15	コミュニティ末広								1	13			1	1	1	3	24	22



コミュニティ末広

防災マップ

災害時

避難所

末広小学校

災害情報について

●宝塚市安心メール

災害など緊急情報や防災防犯に関するお知らせ情報を、市役所や兵庫県災害対策センターなどから携帯電話やパソコンにメールでお知らせします。ぜひ、ご登録を。



(携帯電話、パソコンから)

<http://bousai.net/takarazuka/>

※避難情報や気象情報メールは、英語・韓国語・朝鮮語・ベトナム語・中国語・ポルトガル語の5言語に翻訳しメール配信することができます。(ひょうごEネット HYOGO EMERGENCY NET <http://bousai.net/e/>)

●緊急速報メール

緊急速報メールは、登録の有無には関係なく市域内にいる人の所持する NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの携帯電話に、緊急性の高い避難勧等の防災情報をメールで一斉配信するものです。

●エフエム宝塚災害情報

市域で災害が予測されたり発生した場合などは、広報車などでお知らせするほか、エフエム宝塚(83.5MHz)は、番組を中断して災害対策本部などから災害情報を放送します

※この防災マップは、武庫川水系が大雨によって増水し氾濫した場合の浸水想定区域や、指定避難所・予備避難所及び避難ルート、AED の設置場所等を表示しています。いざという時に備え、あなたの家から避難場所までの経路や、家族の連絡先等を書き込んで見やすい場所に保管しておきましょう。

※この防災マップに掲載している情報は、「宝塚市防災マップ」(宝塚市)・「あなたとペットの災害対策」(兵庫県動物愛護センター)より許可をいただき抜粋(一部追加)・掲載しております。

我が家の防災ノート

あなたの家族やペット、地域のことなどを
書き込んで、災害時にそなえましょう。

非常時持出品・備蓄物資のチェック

非常持出品 避難するときの最小限度の必需品です。

- ☐ 飲み水 ☐ 貴重品・身分証
☐ 普段飲んでいるお薬（お薬手帳）
☐ 懐中電灯・電池 ☐ 現金
☐ 携帯ラジオなどの情報機器

備蓄物資

災害後、数日間を自足するためのもので、
最低でも3日分の準備が必要です。

- ☐ 飲み水 ※食料の備蓄は、保存ができ、調理不
☐ 非常食 要で食べられるような食料品を普段
☐ 救急用品 から余分に購入し、ストックしてお
☐ 防寒具など きましょう。

家族構成に合わせた準備をしましょう

★乳幼児のいる家庭

⇒ 粉ミルク・ほ乳瓶・おむつ・離乳食など

★妊婦のいる家庭

⇒ 脱脂綿・ガーゼ・さらし・T字帯・清浄綿・
 新生児用品・母子手帳など

★要介護者のいる家庭

⇒ おむつ・ティッシュ・補助具の予備・常備薬など

★障がい者のいる家庭

⇒ 笛やブザー・日常使用している薬と薬のメモ・
 連絡先のメモ、その他日常から必要な物など

★ペットのいる家庭

⇒ 5日分以上のフード・水・食器・薬・療法食・
 予備の首輪とリード・ガムテープ・黒の油性ペンなど

その他、生活用品など必要なものを記入

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

家族の緊急連絡先メモ（家族の人数分コピーしていつも身につけましょう）

住 所	
宝塚市	TEL
避難所（地域の一時避難場所）	家族が離れ離れになったとき
末広小学校 水害時は要注意	一時集合場所
	連絡先 TEL

家族の名前	生年月日／血液型	勤務先／学校名	連絡先
	年 月 日 RH +-		TEL E-mail
	年 月 日 RH +-		TEL E-mail
	年 月 日 RH +-		TEL E-mail
	年 月 日 RH +-		TEL E-mail
	年 月 日 RH +-		TEL E-mail

ペットの名前	種類	品種	性別	鑑札番号（犬の場合）



コミュニティ末広 防災マップ

緊急連絡先

宝塚市役所 ☎71-1141
宝塚市役所総合防災課 ☎77-2078
宝塚市消防本部 ☎73-1141
宝塚警察署 ☎85-0110
大阪ガス ☎0120-7-19424
関西電力 ☎0800-777-8043
宝塚市上下水道局 ☎73-3681

かかりつけの病院の連絡先などお書きください。

☎ ☎ ☎ ☎

大雨時に浸水が予想される水路

避難ルート

0.5m未満の床下浸水が予想される区域

指定避難場所

準備避難所

水害時一時避難場所

AED設置場所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

※宝塚市指定避難所

別紙3 阪神・淡路大震災時の避難者数と家屋被災状況

阪神・淡路大震災 月別 避難者数集計 (1月～5月)

施設名	開設期間	1月 延人数	2月 延人数	3月 延人数	4月 延人数	5月 延人数	延人数計
末広小学校	1.17～5.5	1,606	754	489	328	40	3,217
伊子志会館	1.17～1.20	36					36

出典 阪神・淡路大震災 宝塚市の記録 1995 1997年3月1日 発行

阪神淡路大震災 末広小学校 日別 避難者数 (1月19日～2月14日)

月日	1月 19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
避難 者数	7	62	65	65	65	59	59	54	54	54

月日	1月 29日	30日	31日	2月 1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
避難 者数	53	53	51	52	51	51	51	50	50	50

月日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日			
避難 者数	50	49	48	48	48	46	44			

出典 阪神・淡路大震災 宝塚市の記録 1995 1997年3月1日 発行

阪神・淡路大震災 地区別被災世帯数

	世帯 数	全 壊	全 壊 率	半 壊	半 壊 率	小計	小計 率	一部 損壊	一部損 壊率	合 計	合計率
伊子志1丁目	277	12	4.3	63	22.7	75	27.1	53	19.1	128	46.2
伊子志2丁目	450	2	0.4	48	10.7	50	11.1	115	25.6	165	36.7
伊子志3丁目	597	19	3.2	60	10.1	79	13.2	206	34.5	285	47.7
伊子志4丁目	839	230	27.4	13	1.5	243	29.0	258	30.8	501	59.7
逆瀬川1丁目	614	2	0.3	56	9.1	58	9.4	339	55.2	397	64.7
末広町	98	0	0	2	2.0	2	2.0	29	29.6	31	31.6
計	2,875	265	9.2	242	8.4	507	17.6	1,000	34.8	1,507	52.4

注) 出典 阪神・淡路大震災—宝塚市の記録1995— 宝塚市 1997年3月1日発行

資料編 防災に役立つ情報

【資料1】チェックリスト

1 地区の危険な箇所チェックリスト

次の項目にチェックしながら、「地区の危険な箇所」や「地区で起こりそうな災害」を確認しましょう。また、その結果をもとに地区避難計画を作成して、地区で情報を共有しましょう。（地区によっては関係のない項目がありますが、防災対策の参考としてください。）

項目	チェック欄
がけ崩れの危険性がある場所はないか	
がけ崩れなどが起こった場合に土砂が広がると考えられるのはどの範囲か	
河川等がどこにあるか	
河川堤防、水門の場所はどこか、状況は（老朽化・脆弱性等）	
海拔が著しく低い場所はあるか	
過去に災害が発生した場所があるか	
河川の河床より低い場所（天井川）はあるか	
決壊しそうな（したことがある）河川はあるか	
洪水で浸水が考えられるのはどの範囲か	
ため池の護岸の場所はどこか、状況はどうか（老朽化・脆弱性等）	
埋立地や湿地、沼地はないか	
土地が陥没しそうなところはないか	
大雨が降った場合に、浸水しそうな（浸水したことがある）場所はどこか	
地震で倒壊の可能性があるブロック塀や電柱、街灯、大木などはないか	
地震で落下しそうな看板などはないか	
高層建築物などのガラスが割れて、飛散しそうな場所はないか	
地震で高架道路等から通行車両が転落しそうな場所はないか	
マンホールや貯水槽のフタは大丈夫か（人が落下しそうな場所はないか）	
危険物や化学薬品等を扱っている事業所はないか	

2 自主防災活動（共助）チェックリスト

災害に備えて、次の項目を一つずつ点検してみましょう

項目		チェック欄
基本活動	災害発生時に自主防災組織が機能する体制ができているか	
	住民が積極的に防災活動に参加しているか	
	地区住民に正確で分かりやすい防災情報の提供ができているか	
	女性や高齢者、障害のある人の意見が地区防災活動に反映できているか	
	定期的に防災訓練を実施しているか	
	防災訓練の際に消防局など専門的な人の意見も参考にしているか	
	過去の訓練を検証し、適宜、見直しや新たな訓練の導入を心がけているか	
自主防本部	災害時に自主防本部を、いつ誰がどこに設置するか決められているか	
	自主防本部や各班の行動マニュアル（行動の取り決め）はできているか	
	自主防本部での情報通信体制は確保されているか	
	災害時に地区の情報を収集（本部へ報告）する方法は決められているか	
	各種防災関係書類（組織台帳、防災資器材台帳、避難行動要支援者（災害時要援護者）台帳）は作成されているか	
避難体制	過去の災害実績や土地利用などを踏まえた防災マップが作られているか	
	地区住民の具体的な避難計画（避難場所・避難経路等）はできているか	
	地区で避難する際のリーダーや声かけのルールが決められているか	
防災倉庫・資器材等	自主防本部で必要な防災用品が準備・保管されているか	
	常時使用できる管理体制になっているか（複数人で鍵を管理するなど）	
	定期的な点検がされているか	
	食料・飲料水は、適宜更新されているか	
初期消火	地区住民（役員等）は、地区の消防水利を把握しているか	
	地区住民（役員等）は、消火栓の使用方法を理解しているか	
	バケツリレーなど、地区の消火方法が周知されているか	
救出救護	建物倒壊時の負傷者救出のための道具は用意されているか	
	負傷者を救護所まで搬送する方法は決められているか	

3 わが家の防災力（自助）チェックリスト

災害に備えて、次の項目を一つずつ点検してみましょう

項目		チェック欄
全般	防災について、家族で話し合いをしているか	
	避難場所までの避難経路を決めているか	
	家族が離れ離れになったときの連絡方法を決めているか	
	非常持ち出し品を準備しているか	
	地区で発生しそうな災害を把握しているか。	
	家の中の避難通路を確保しているか（物を置いていないか）	
	避難に関する情報の入手方法を把握しているか	
	隣近所とコミュニケーションをとっているか	
	自主防災組織の活動に参加しているか	
地震	自宅の耐震化診断や耐震化の対応はできているか	
	家具の転倒防止策を行っているか	
	寝室や子ども部屋に転倒しやすい家具等を置いていないか	
	緊急地震速報がでた場合の対応を理解しているか	
	地震が発生した場合の行動を理解しているか	
	地震ハザードマップ・津波ハザードマップを理解しているか	
風水害	側溝や排水溝を掃除しているか	
	雨どいに落ち葉や土が詰まっていないか	
	がけの近くを寝室にしていないか	
	気象情報を日頃から注意しているか	
	土砂災害の前兆現象を知っているか	
	洪水ハザードマップを理解しているか	
火災	住宅用火災警報器を設置しているか	
	防災品や耐震機能付きの家電を使っているか	
	ブレーカーの場所や操作方法を知っているか	
	消火器を設置し、使い方を知っているか	
	119番通報の要領がわかっているか	
	電気コンセントを定期的に掃除しているか	

【資料 2】 家庭での防災・減災対策

地区で災害に強いまちづくりを進めるためには、まずは家庭で日頃からの準備をきちんと行っておく必要があります。

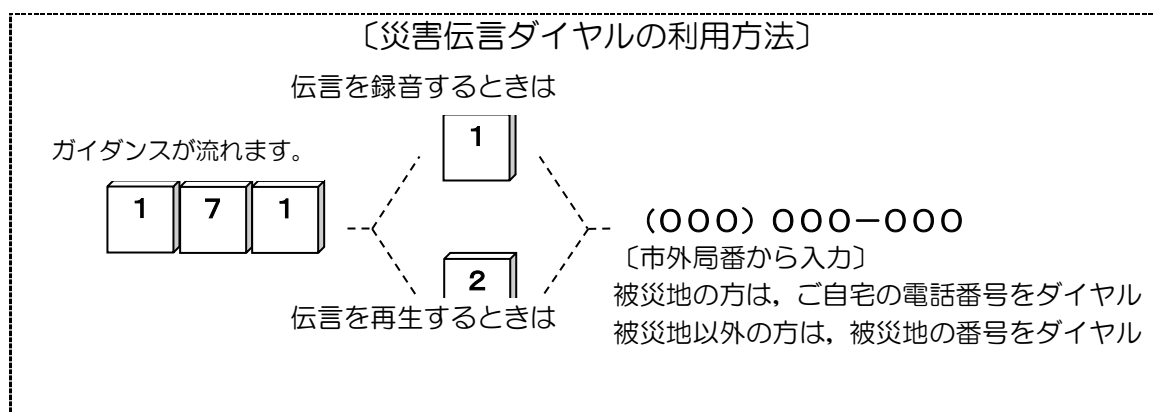
1 避難経路の確認

自宅や勤務先などから安全に避難できる避難場所や避難経路などを確認しておきます。地区で発生しそうな災害は何か、災害によりどんな被害を受けるのかなどを想像しながら、状況に応じて安全に避難できるよう複数の避難経路を確認します。

2 家族や友人との連絡方法の確認

災害が発生したとき、家族や友人の安否が確認できるよう、家庭で連絡方法を話し合っておいておきます。

(1) 災害伝言ダイヤル「171」を利用する。



(2) 携帯電話の「災害用伝言板」を利用する。

震度6以上の地震など大きな災害が発生したとき、携帯電話上に「災害用伝言板」が設けられます。

伝言の録音	伝言の確認
①トップ画面の「災害用伝言板」を選択	①トップ画面の「災害用伝言板」を選択
②「災害用伝言板」の画面から「登録」を選択	②「災害用伝言板」の画面から「確認」を選択
③伝えたい項目を選択（書き込みもできる）	③相手の携帯電話番号を入れる。
④その画面で「登録」を選択	④その画面で「検索」を選択
⑤伝言の登録完了	⑤伝言の検索結果が表示される。

3 非常持ち出し品の準備

家族構成に合わせて、非常持ち出し品を必要な量だけ用意し、すぐに持ち出せる場所に保管しておきます。

非常持ち出し品チェックリスト

品名	チェック欄	品名	チェック欄
食料（目標：7日分）		救急医療品（キズ薬、ばんそうこう、かぜ薬、胃腸薬など）	
飲料水（目安：大人1人に3ℓ）		常備薬	
携帯ラジオ（予備の電池）		貴重品（預貯金通帳、印鑑など）	
懐中電灯（予備の電池・電球）		現金	
ろうそく		健康保険証のコピー	
ヘルメット（防災ずきん）		住民票のコピー	
ライター（マッチ）		感染症物品（市防災マップ）	
ナイフ、缶切り、栓抜き			
ティッシュ			
タオル			
ビニール袋			
上着			
下着			
軍手			

4 家の中や周りの点検・補強

（1）家の中の点検

- ・タンス、食器棚、冷蔵庫、テレビなどの家具の配置場所を見直す。または、転倒防止器具などで固定する。
- ・食器棚に扉開放防止の器具を取り付ける。
- ・ガラスに飛散防止フィルムを張る。

（2）家の周囲の点検

- ・アンテナの補強
- ・プロパンガスやクーラー室外機等の固定
- ・非常用通路の確保（玄関周りなど避難経路に物を置かない。）

（3）自宅の耐震化チェック

- ・耐震化診断を受ける。
 - ・耐震化補強を行う。
- （木造住宅の耐震診断・改修の補助については、宝塚市宅地建物審査課へ相談）

5 情報の収集

- 地震発生後、気象庁から発表される情報などに注意する。
- 宝塚市から避難指示等の避難情報が発令された場合、速やかに指示に従って適切に行動する。
- 自らもテレビ、ラジオなどを利用して情報収集を行い、避難が必要と判断した場合は、自主的に避難する。

市防災マップ 防災情報チェック参照

避難指示等の避難情報の発令や伝達は、次の方法で行われます。

- 宝塚市広報車や消防車両などによる広報
- 宝塚市安心メール配信サービスによる緊急メール配信
- 携帯電話事業者によるエリアメール
- エフエム宝塚からの緊急放送
- すみれ防災スピーカー
- コスモキャスト（防災放送アプリ）
- 防災 SNS

〔情報の入手先〕

- 兵庫県防災情報 <http://web.bosai.pref.hyogo.lg.jp>
(兵庫県全域の防災情報)
- 宝塚市HP <https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/>
(防災のページ)
- 気象庁HP <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

(参考) 宝塚市安心メール配信サービスの登録方法

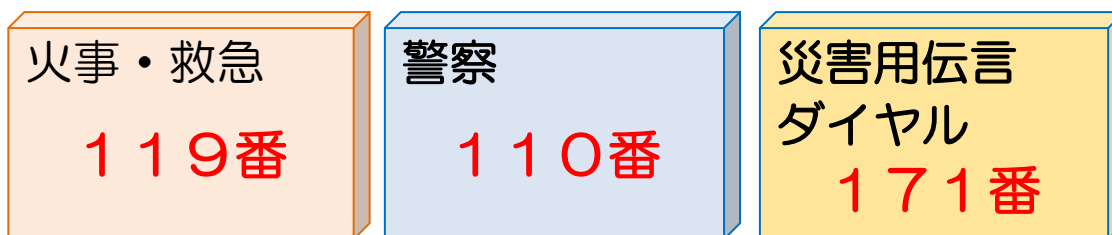
1. 携帯電話またはパソコンのEメール作成画面の宛先に、takarazuka@bosai.net を入力、または右のQRコードを読み込み、メールを送信してください。



【QRコード】

- (メール本文や件名には何も入力しないでください。)
2. しばらくすると、情報メール登録用URLを記載したメールが届きます。
(メールが届かない場合、受信設定(URL付きメール及び「bosai.net」のドメインを受信許可)を確認してください。)
3. 情報メール登録用URLにアクセスし、ガイダンスに従って登録して下さい。
4. 本登録完了のお知らせメールが届いたら登録完了です。

6 わが家の防災メモ



ア 緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話
宝塚市	71-1141	上下水道局	
消防署		病院	
警察署			
ガス会社			

イ 家族の連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話

ウ 親戚・知人の連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話

エ その他の連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話

※「3 わが家の防災力（共助）チェックリスト」を利用して、わが家の防災力を点検しましょう。

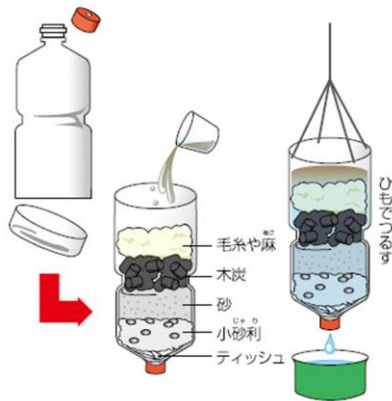
【資料3】 いざというときのアイデア

災害時には、停電や断水が起こるなど、ふだん当たり前のように使っているライフラインが機能しなくなる場合があります。こういった場合に次のような方法があります。

■ 水をろ過する方法

ペットボトル

ふたの真ん中に小さな穴をあけ、底の部分は切り取る。さかさにして砂や木炭などのろ過材を入れてひもでつるし、下に水受けを置けばできあがり。



布

一方のはしを水にひたし、別のはしを水受けに入れ、水より少し低い位置に置くと、きれいな水がたまります。



■ 火のおこし方

1 火をつける材料を用意

乾燥した草、木の削りかす、鳥の羽、杉の木の内皮、布の毛羽、ロープをほどこいたものなど。



2 虫メガネのレンズやピンの底などで火をおこす



■ あかりの作り方

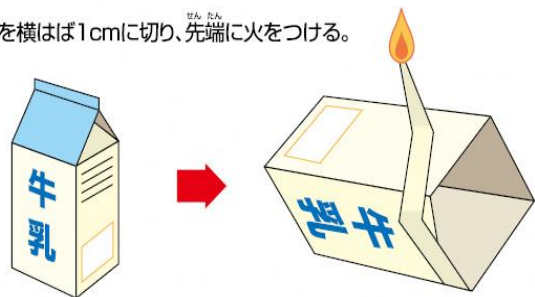
食用油

食用油を小皿か缶詰の空き缶に注ぎ、布か紙をよったしんをひたす。



牛乳パック

牛乳パックを横はば1cmに切り、先端に火をつける。



■アイデア調理

～ いざという時直ぐに役立ち、覚えておくと便利です～

〔アイデア 1〕 炊飯用袋を利用

災害時にも役立つ商品として、米研ぎ不要、火加減・水加減も不要でお米が炊ける炊飯用袋が、防災用品売場やホームセンターなどで販売されています。

（作り方）ポリエステル不織布で作られた炊飯袋の中に、付属の紙製計量カップで量ったお米を洗わないまま入れて、竹串でとめる。沸騰湯に投入し20分茹でた後に10分ほど蒸らしてできあがり。炊飯用の袋は、受け渡し容器としても便利です。



⇒



〔アイデア 2〕 ポリ袋を利用した炊飯

スーパーでよく見かけるポリ袋は、液体漏れせず、熱湯に耐える程度の耐熱性があるので、調理道具としても使えます。

（作り方）① 料理用ポリ袋に米と水を入れ、袋の空気を出して口をしっかり縛る

材料(1人前)：米1/2カップ 水1/2カップ (250kcal)

② カセットコンロまたは、まき用釜で鍋にお湯を沸かす。

③ ①を沸騰したお湯に入れ、落しふたをしてお湯の中に沈め、25分～30分茹でる。



⇒



どちらの方法も、袋を食器代わりにしてご飯を食べることが出来るので、衛生的で、食器がいりません。

■ビニール袋を利用したカッパ（簡易防寒着）の作り方



① 袋の底を手前にして縦方向に置き、縦方向に3箇所切ります。



② 図のとおり横方向に切ります。



③ 図の細い部分の輪を切って開きます。



④ 右端の部分も、同じように切って開きます。



⑤ そのまま縦方向に、右端を切り開く。これでゴミ袋カッパの完成です。



左側の大きな部分が頭のフード、真ん中の部分があごヒモ、右の部分が体の前をとめるヒモになっています。

あごヒモと、体部分のヒモを止めれば、上半身のみですが、簡易雨合羽の完成です。また、防寒着代わりとしても使えます。

※ ビニール袋カッパは何もない場合の簡易用ですので、普段からカッパや防寒着を非常持ち出し袋に入れておきましょう。

■ビニール袋と新聞紙で作る 簡易トイレ【避難生活】

被災時には、水道が止まってトイレが使えなくなる場合があります。そんな場合に、ビニール袋や新聞紙を利用して簡易トイレが作れます。



① 大きめのビニール袋と新聞紙を用意し、ビニール袋の縁を丸く外側に折り込みます



② その中に丸めてしわを作った新聞紙を入れます。中の新聞紙をくしゃくしゃにすると袋の中になじみやすく 吸収もしやすくなります。



③ 新聞紙のサイドを立てればより排泄物が外に漏れにくくなります。



④ 用を済ませたあとは袋の中の空気を抜きながら口を縛り決められた場所に捨てます。



⑤ トイレの便器がまだ衛生的な場合は、ビニール袋と新聞紙をかぶせて利用すると水が流れなくても良好な衛生状態を保つことができます。

用を済ませた後は中の空気を抜きながら口を縛り、決められた場所に捨てます。トイレの便器が使える場合は、便器に同じくビニール袋と新聞紙をかぶせて利用すると水が流れなくても衛生状態を保つことができます。

■簡易ランタン



①懐中電灯，半透明（乳白色）のビニール袋，輪ゴムを用意します。



②半透明（乳白色）のビニール袋に空気を入れて膨らませます。



③懐中電灯のライト部分をビニール袋に入れて覆い被せ，ライトの首の辺りでビニール袋がずれないように輪ゴムで留めてください。



④ぶら下げれば，電球代わりになります。



⑤懐中電灯は一方向を照らし，明るいですが，ビニール袋をかぶせることで光の力は弱まり，優しい光となりますが，光が拡散されて広い範囲を照らしてくれます。

※LED ライトは，電池が長く持ち，熱をあまり持たない特徴がありますが，念のため火災などに注意してください。

■レジ袋とタオルで作る簡易おむつ 【避難生活】



① レジ袋を用意し、持ち手と両脇を切ります。



② 長い一枚のビニールにします。



③ 赤ちゃんの下にそっと優しく敷きます。ビニールの上には新しいタオルなどを当てます。



④ オムツをするようにかぶせます。



⑤ 身長に合わせて折り返し、腰のあたりで持ち手を結びます。



コミュニティ末広 地区防災計画
令和2年（2020年）11月作成
コミュニティ末広地区防災計画はホームページに掲載しています
コミュニティ末広ホームページ URL

<https://takarazuka-community.jp/document-suehiro>

【この地区防災計画に対するお問い合わせ先】
まちづくり協議会 コミュニティ末広
〒665-0031 宝塚市末広町3-1 末広小学校内



この地区防災計画は「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」補助金を財源とする「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しました。